事業番号　288

平成23年行政事業レビューシート　（外務省）

事業名	海上安全保障専門員経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	海上安全保障政策室	室長　瀬尾　正嗣
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1　国際の平和と安定に対する取組	
根拠法令（具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条第1項イ	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	海上安全保障専門員制度は、①外務省としての海賊対策業務における民間企業との連携確保、②ソマリア沖海賊対策に関するコンタクト・グループ関連、③国際海事機関主催ソマリア周辺海域諸国の域内協力のための会議開催等の業務に従事する「海上安全保障専門員」を採用し、我が国の海上安全保障政策に資することを目的としたもの。
事業概要（5行程度以内。別添可）	海賊対策の実施に当たっては、政策の立案にあたり専門的な海運業界の知識を必要とする他、海賊対策の実施にあたり海運業界との連携を取っていくことが不可欠である。このような状況に鑑み、日本船主協会のメンバーである民間会社から、外務省としての海賊対策業務における民間業界との連携確保に係る業務等に従事する「海上安全保障専門員」を採用したもの。
実施方法	□直接実施　■業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位:百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	－	－	3	－	3
	補正予算	－	－	－	－	
	繰越し等	－	－	－	－	
	計	－	－	3	－	3
執行額		－	2	2		
執行率（%）		－	－	70.1		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（　年度）
民間船舶会社との情報交換・連携を日常的なペースで実施することを目標とし、実際毎週複数回の連絡や意見交換の場を設定した。コンタクトグループなどとの国際的な連携強化を目標とし、実際十分な連携を達成した。	成果実績	回	－	－	80	－
	達成度	%	－	－	100	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
民間船舶会社への十分な情報提供を行い、またそのニーズを十分に吸い上げて海賊対策の政策に活かすことを活動の指標とし、実際十分な情報提供とニーズの取り込みを実現した。国際社会に我が国の貢献について十分認識させることを活動の指標とし、達成した。	活動実績（当初見込み）	人	－	－	1（　）	—（　）

単位当たりコスト	一人あたり3百万円	算出根拠	一人あたりの給与

平成23・24年度予算内訳（単位：千円）

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
人件費	0	2,972	平成24年度改めて要求
計	0	2,972	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	―	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	―	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	―	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	―	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	専門員の採用は所期の目的を十分に果たす成果をあげた。平成23年度は予算の確保ができず採用ができなかったが、今後は予算を得次第、採用を再開したい。		

予算監視・効率化チームの所見	
現状通り	―

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
―

補記　（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

外務省
2百万円

1．海賊対策業務における民間企業との連携確保、2．ソマリア沖海賊対策に関するコンタクト・グループ関連、3．国際海事機関主催のソマリア周辺海域諸国の域内協力のための会議開催等の業務に従事する海上安全保障専門員を雇用。

↓

【競争性のない随意契約】

A．海上安全保障専門員1名
2百万円

海上安全保障専門員が給与を受領

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	海上安全保障専門員　給与	2
計		2

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

B.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

C.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	入札者数	落札率
1	海上安全保障専門員	海上安全保障専門員が給与を受領	2	ー	ー
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					